

教育相談・地域支援担当から

秋の公開講座のお知らせ

10月のきてみてであう麻生週間に、てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック院長 寺田先生をお招きして、「てんかん基礎講座」というタイトルで保護者の皆様や地域の方へ御講演いただく予定です。寺田先生の御経験も踏まえて、てんかんの基礎的なお話をさせていただきます。申し込みについては1学期に配付したチラシ、もしくは学校のホームページを御確認ください。

スヌーズレンルームの紹介

「スヌーズレン」とはオランダ語の「スヌッフレン」と「ドースレン」の合成語で「探索」や「リラクゼーション」の意味を兼ね備えています(国立特別支援教育総合研究所より)。

本校でも、スヌーズレンルームがあります。様々な色のイルミネーションライトや光と泡のバブルユニットなどの電飾で様々な光を楽しめます。ゆったりとした音楽を楽しんだり、マットレスで横になったりと、過ごし方は様々です。児童生徒が思い思いにリラックスできるスペースです。

昨年度末に新しく「ミルキーウェイ」という光ファイバーを楽しむ教材が入りました。児童生徒も触れて楽しんでいます。



情報コーナーの紹介

放課後等デイサービス等をお探しでしたら、1階図書コーナーにパンフレットを置かせていただいていますので、御覧ください。また、過去のパンフレットも青いファイルに収納されています。複数枚あるパンフレットについては、お持ち帰りいただいても結構です。ぜひお立ち寄りください。



夏の学習会



「たべる・わらう・しゃべるを支える
摂食指導と口腔ケア」



7月24日(木)、本校教職員に加え、地域の小中高等学校、特別支援学校の方々が参加して、夏の学習会を行いました。学習会では、ニュートウンはぐみ歯科の医師である松澤直子先生をお招きして御講演いただきました。

「たべる・しゃべる・わらうを支える」というテーマのもと、普段の摂食指導で気になる点を具体例を交えながら丁寧に解説していただき、学びの多い講義でした。

また、歯科医師ならではの視点で口腔ケアについてもお話いただき、子どもたちが、卒業後も自分らしく豊かに生活していくために、日々の支援積み重ねが大切なのだと改めて感じました。今回学んだことを、今後の教育活動に生かして参ります。



福祉機器展開催のお知らせ

11月21日(金)と22日(土)に本校で開催される☆柿祭で、2年ぶりに福祉機器展を開催します！今回も横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部のご協力を得て、自立活動室で、『日常生活支援用品、コミュニケーション機器』などの福祉機器を、そして昇降口横のメンテナンス通路では、数年ぶりに『福祉車両』の展示を行う予定です。「福祉機器展」と聞くと、肢体不自由教育部門の方に向けた展示と感じる方も多いかもしれませんが、知的障害教育部門の方々に向けての内容を充実すべく、計画を進めています。

福祉機器展では、関東各地から数社のメーカー担当者さんに来ていただき、また福祉車両だけでも3社来校していただく予定です。2日間開催していますので、みなさまの御来場をお待ちしております。



移行支援(進路)担当から

卒業生のアフターフォロー

毎年夏季休業期間を利用して、直近の卒業生の進路先に進路担当や元担任の先生がお伺いし、御本人の活動の様子を見学したり、スタッフの方から様子をうかがったりしています。

卒業してから数カ月が経過して、徐々にそれぞれの環境や活動内容などに慣れてきている様子を知ることができました。また、どの進路先も御本人の様子に合わせてさまざまな支援をしてくださっていることがよくわかりました。

卒業後、新たな心配事が出てくることもあるかと思います。通所先の事業所や職場のスタッフへの相談はもちろんですが、区役所障害課の担当ケースワーカーや契約している計画相談事業所の相談員さん、また横浜では各区にある基幹相談支援センター、川崎では各区にある障害者相談支援センターなどが、卒業後も相談できる機関になります。困ってしまったら、学校でももちろん御相談を承ります。

計画相談事業所とのつながりは卒業後福祉サービスを利用するために必要ですが、機会があれば在学中から身近な相談先としてあると良いと思います。

高等部2年対象 個別施設見学

高等部になると卒業後の進路先を検討するために、施設等の見学をしていきます。高等部2年生は夏季休業を利用して、保護者の方と一緒に生徒本人も福祉施設の見学をしてもらいました。今回見学に参加できた生徒は学校卒業後にどういうところに通って、どんな活動をするのかなど、実際に見て感じるものがあつたろうと思います。参加された保護者の皆様には、御多忙の中、御協力ありがとうございました。進路選択に向けて良い機会となっていたら幸いです。

教員研修(日総ぴゅあ株式会社見学)

8/6に「日総ぴゅあ株式会社」に麻生支援学校教員で見学にお伺いました。

仲町台事業所では、販売業務(福祉事業所などから仕入れ、学校や老人ホームなどで販売)、軽作業(お菓子用箱の組立て)、データ処理(受託による画像処理)を行っています。実際に働いている方々が仕事内容を説明してくれました。また、仕事の様子を見学後、各部門の指導員の方とディスカッションをしました。「学校＝学ぶ場 会社＝働く場」であること、在校時から取組んでほしいこと、新しいことに挑戦することの大切さなどの情報共有をしました。今後の日々の支援に活かしていきたいと考えています。

サタデーセミナーのお知らせ

今年度のテーマは「障害基礎年金～基本のき～」(仮)です。『川崎市育成会 手をむすぶ親の会』の方を講師にお招きして、御講演いただく予定です。12月中の土曜日を予定しております。日程を含めた詳細については、改めて御連絡させていただきます。